

| | | | | | |
|---|---|--|----------------------------------|------|------|
| 日本工学院専門学校 | 開講年度 | 2020年度（令和2年度） | 科目名 | 発想法 | |
| 科目基礎情報 | | | | | |
| 開設学科 | AIシステム科 | コース名 | — | 開設期 | 前期 |
| 対象年次 | 1年次 | 科目区分 | 必修 | 時間数 | 15時間 |
| 単位数 | 1単位 | 開講時間 | | 授業形態 | 講義 |
| 教科書/教材 | 「思考法図鑑」（翔泳社）、「くぼたつ式思考カード」（インプレスR&D） | | | | |
| 担当教員情報 | | | | | |
| 担当教員 | | 実務経験の有無・職種 | | | |
| 学習目的 | | | | | |
| AI・IoTを活用した新しいシステムやサービスを生み出すためには、部品となるAIやIoTを、何のために何と組み合わせ活用するか「考える」ことが必要である。しかし、自分ひとりでなんとなく「考える」だけでは、生み出されるアイデアは限られる。そこで、アイデアを考えるためのツールとなる、様々な「発想法」を実際に使いながら学ぶことで、AIシステムの活用や、企画・開発に関わる人材としてのスキルを身につける。 | | | | | |
| 到達目標 | | | | | |
| 様々な課題解決の場面や、アイデアを考える場面において、より効果的な発想法を選択して実践することができる。また、発想法それぞれの留意点を理解しており、他者にもその使い方を説明し、チームで取り組むことを促進できるスキルを獲得する。これらを通して、多様な意見を聴いて受け入れる寛容さと、イノベーションの原石を生み出すような大胆かつ柔軟な姿勢を身につけることを目指す。 | | | | | |
| 教育方法等 | | | | | |
| 授業概要 | 様々な発想法・思考法について、教科書等を使いながら学ぶとともに、身近な課題やAI・IoTをテーマとして発想を実践することで、各手法の使い方や留意点を身につけていく。個人作業も行うが、グループ作業を中心として進める。他者の意見を聴くこと、他者に自分の意見を伝えること、他者とのコラボレーションによりアイデアを生み出すことを繰り返し、習慣化する。 | | | | |
| 注意点 | 授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。欠席は基本的に認めない。授業に出席するだけでなく、社会人として働くことを前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。課題によってはグループでの作業を行うため協調性も評価の対象となりうる。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。 | | | | |
| 評価方法 | 種別 | 割合 | 備考 | | |
| | 試験・課題 | 50% | 試験と課題を総合的に評価する | | |
| | 小テスト | 0% | | | |
| | レポート | 0% | | | |
| | 成果発表 (口頭・実技) | 30% | 授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する | | |
| | 平常点 | 20% | 積極的な授業参加度（予習の有無、発言）、授業態度によって評価する | | |
| 授業計画（1回～15回） 1回（1）時間 ※45分を1時間とする | | | | | |
| 回 | 授業内容 | 各回の到達目標 | | | |
| 1回 | 発想チャレンジ(1) | 思考カードを用いて自分でアイデアを発想できる | | | |
| 2回 | 発想チャレンジ(2) | 思考カードを用いてチームでアイデアを発想できる | | | |
| 3回 | 思考の基礎体力を高める(1) | 基礎的な思考法を理解し説明できる（ロジカル・シンキング、クリティカル・シンキング等） | | | |
| 4回 | 思考の基礎体力を高める(2) | 基礎的な思考法を理解し説明できる（ロジカル・シンキング、クリティカル・シンキング等） | | | |
| 5回 | アイデアの発想力を高める(1) | アイデアを発想するための手法を理解し説明できる（ブレインストーミング等） | | | |
| 6回 | アイデアの発想力を高める(2) | アイデアを発想するための手法を理解し説明できる（弁証法等） | | | |
| 7回 | ビジネス思考力を高める(1) | ビジネスにつなげる思考法を理解し説明できる（デザイン思考等） | | | |
| 8回 | ビジネス思考力を高める(2) | ビジネスにつなげる思考法を理解し説明できる（逆算思考等） | | | |
| 9回 | プロジェクトの推進力を高める(1) | プロジェクトの推進させる思考法を理解し説明できる（Why思考等） | | | |
| 10回 | プロジェクトの推進力を高める(2) | プロジェクトの推進させる思考法を理解し説明できる（GTD等） | | | |
| 11回 | 分析力を高める(1) | 分析に用いる手法を理解し説明できる（相関分析） | | | |
| 12回 | 分析力を高める(2) | 分析に用いる手法を理解し説明できる（時系列分析等） | | | |
| 13回 | 総合演習(1) | テーマとなる課題を解決するためにチームで相談し発想法を選択できる | | | |
| 14回 | 総合演習(2) | テーマとなる課題を解決するアイデアをチームで発想できる | | | |
| 15回 | 総合演習(3) | テーマとなる課題を解決するアイデアをチームでまとめ発表できる | | | |